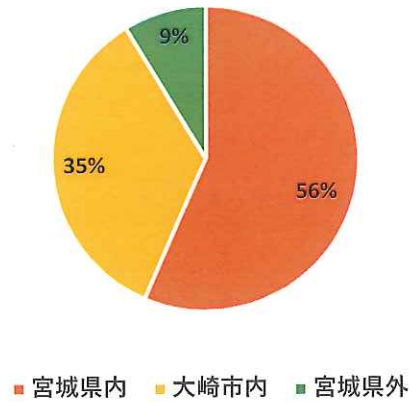
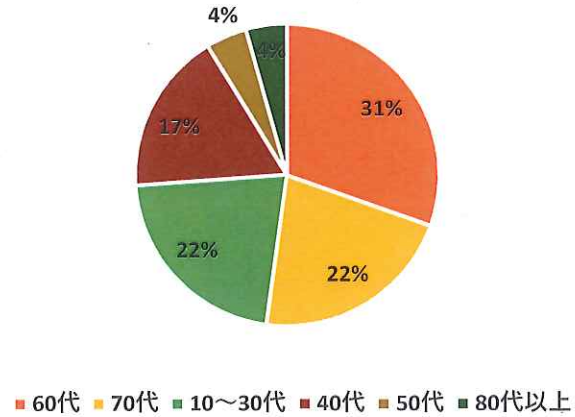


吉野作造記念館 2019年度前期企画展「民衆とともに生きる－吉野作造・布施辰治と復興の精神－」アンケート集計結果（回答23名）

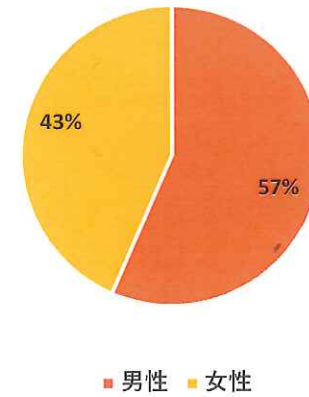
お住まい



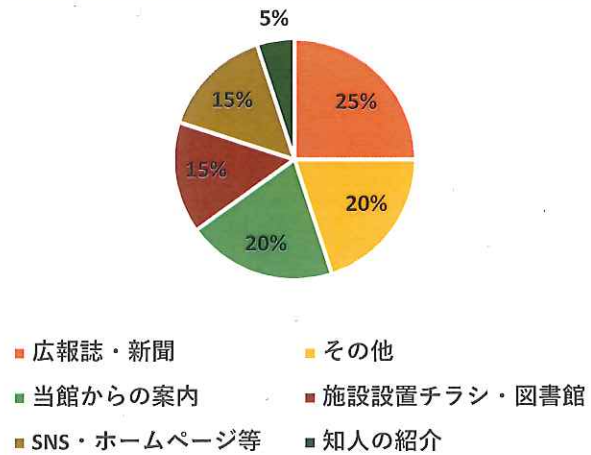
年齢



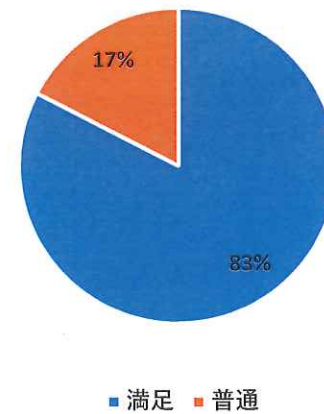
性別



企画展の情報を何で知りましたか



内容について



ご意見・ご感想

◆地域で先人たちの顕彰を行い、次世代に伝えることは重要ですね。先人たちの苦勞を、現代の我々はどれだけ受け継いでいるだろうか？

(60代 男性)

◆音声ガイドとともに展示品を見ました。震災の状況もそうでしたが、布施辰治の信念と吉野の民本主義を重ねて、生きた様子が伝わりました。この企画展を見て、私も、自分にも何かの形でできることを探して生きていきたいと思いました。

(70代 女性)

◆日韓関係が泥沼になりつつある時期、偶然でしょうかタイムリーな企画展でした。布施辰治のことがもう少し日韓両国の人たちに正しく理解され、今後につながればいいのと思います。いつかそのような企画展を望みます。

(70代 男性)

◆近隣アジアの方たちが、この記念館に多く訪れて欲しいと思いました。

(60代 男性)

◆とても古いすずりなどが見られてよかったです。

(10代～30代)

◆2・8独立宣言書が大変素晴らしい。関東大震災後の虐殺について「日本人は朝鮮人に恨まれている、と潜在意識にある」は、現時点でも当てはまって大いに勉強になった。布施氏の「民衆とともに生きる」生涯はもちろんだが、当時の政治情勢も現在への意義深い参考材料となった。

(40代 女性)

ご協力ありがとうございました。今後の運営に活かしてまいります。